

乳腺外科トピックス2（2015年6月）

1) 乳がん関連情報について

携帯からも簡単にインターネットにアクセスできる時代、氾濫する情報に翻弄された方も少なくないことでしょう。ここでは、吟味された情報源をご紹介します。ご参考になれば幸いです。

・日本乳癌学会 患者さんのための乳がん診療ガイドライン <http://jbcspfguideline.jp/>

・Cancer Net Japan <http://www.cancernet.jp/>

・厚生労働省研究班が運営するホームページ

- 若年乳がん患者のサバイバーシップ支援プログラム <http://www.jakunen.com/index.html>
- がんと就労 <http://www.cancer-work.jp/>
- Hope Tree（ホープツリー）～パパやママが“がん”になったら～ <http://www.hope-tree.jp/>

患者サポートグループが運営するホームページ

- Breast Cancer Network Japan-あけぼの会 <http://www.akebono-net.org/index.htm>
- VOL-NEXT <http://www.v-next.jp/>
- 乳がん患者友の会きらら <http://www.ac.auone-net.jp/~hcancer/>

体験者の声が紹介されているホームページ

- 健康と病いの語りディベックス・ジャパン <http://www.dipex-j.org/bc/>
- 乳がん羅針盤 <http://nyugan-rashinban.jp/index.html>
- 若年性乳がんサポートコミュニティピンクリング <http://www.pinkring.info/>
- JPOP-VOICE <http://jpop-voice.jp/cancer/index.html>
- 乳がん. JP <http://www.nyugan.jp/>
- STAND UP!! <http://standupdreams.com/>

その他

- がん情報サービス <http://ganjoho.jp/public/index.html>

2) 乳がん検診の勧め

兵庫県は長らく乳がん検診受診率が全国最低でした。最近やや改善しましたが、まだワースト5～6位と低迷しています。受診率アップのために、「はなみずきの会」では、2013年より「にしわき乳がん市民公開講座」を開催しています。初回には、「遺伝性乳がん」を昭和大学遺伝カウンセラーの四元淳子先生に、「乳房再建」を大阪大学形成外科教授の矢野健二先生に、2回目には、「骨症状」を大阪府立成人病センターの橋本伸之先生に、「心の持ち方」を芦屋市立病院の進藤喜予先生にお話しいただきました。3回目の今年は乳がん検診の専門家にお越しいただく予定です。

また、2014年より、西脇病院フェスタで「乳がん検診の勧め」と題したイベントで、乳がん検診についての掲示、触診モデル体験、医師による相談等をしております。

第3回にしわき乳がん市民公開講座は11月28日（土）に、病院フェスタイベントは7月25日（土）に予定しております。

3) 10月25日の「歩こう会」

「にしわき乳がん市民公開講座」は、初回から3年連続で正力厚生会の補助金をいただいております。3年目の今回は、審査員の先生方より「もっと市民を巻き込んだ企画を」とコメントいただき、それではピンクリボンウォークに習って歩こう会を行うことになりました。西脇市・多可町医師会、西脇市、多可町の後援で行います。詳細は広報等でお知らせします。

4) 遺伝相談外来について

乳がんは、ほかのがん腫が減少しつつあるなか増えており、日本人の女性12人に1人が生涯に乳がんにかかるといわれています。また、ほかのがん腫と比べて家族歴のある方の罹患が多く、遺伝性乳がんは、乳がん全体の5～10%を占めます。遺伝性乳がんの原因遺伝子のうち、最も重要なものはBRCA1/2です。BRCA1/2は、遺伝性乳がん・卵巣がん症候群（Hereditary Breast and Ovarian Cancer Syndrome, HBOC）の主因となる遺伝子です。この遺伝子に異常があると、乳がんのみではなく卵巣がんのリスクも一般の方の10倍以上となります。

遺伝性乳がんは、遺伝性であるからといって、一般の方の乳がんと比べて悪性度が高いというわけではありません。リスクの高い方は、一般の方よりも早くから乳がんや卵巣がんに気を付けることで、早期発見・早期治療が可能であり、必ずしも予後が悪いわけではありません。そのためにも、ご自分のリスクや対処法について知っておくことは、とても大切です。

これまでに北播磨には遺伝性乳がんの相談窓口がなく、京都大学病院等にご紹介していました。乳腺外来の来院数が増えにつれて、遺伝性乳がんを心配される方も増えてきました。地元で気軽に相談でき、そして BRCA 遺伝子検査ができるようにと、当院では 2014 年 6 月から遺伝相談外来を開設し、この 1 年間で 4 名のご相談がありました。